

予算要求課	財務部 税務課	内線	2140
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	2	徴税费	目	2	賦課徴収費
事業名	22200		賦課事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		129,286	109,463	△ 19,823	93,142	積算内訳の精査 ・標準宅地鑑定業務の減 ・市税還付金の減	93,142	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	129,286	109,463	△ 19,823	93,142		93,142	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
公平で正確な市税の賦課			
事業実施の課題			
景気動向による市税還付金の増減 土地等の下落による評価額の減			
事業概要			
市税確保のための賦課事務			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
土地、家屋、償却資産の的確な評価 正確、迅速な市税賦課			
要求額増減理由			
3年毎の評価替え年度における委託料の増減			

①総合計画		
構想の推進		
行財政運営		
(2) 健全で持続可能な財政基盤の確立を図る		
② 財源の確保		
②実施計画・中期財政計画		
7 構想の着実な推進をめざして		
(2) 行財政運営		
ソフト		
財源の確保		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	財務部 税務課	内線	2140
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	2	徴税费	目	2	賦課徴収費
事業名	22205		徴収事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,900	8,203	4,303	7,200	積算内訳の精査 ・市税コンビニ収納の実施	7,200	財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	3,900	8,203	4,303	7,200		7,200	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>				
市税確保(自主財源)のための公平な徴収				
<b>事業実施の課題</b>				
景気動向による個人所得の減等による徴収率の低下				
<b>事業概要</b>				
市税確保のための徴収事務、差押、インターネット公売等				
計画・実績・見込		H21実績	H22見込	H23計画
市税徴収率 現年分(%)		98.0	98.2	98.5
市税徴収率 滞繰分(%)		13.8	20.1	30.0
<b>成果</b>				
コンビニ収納における利便性の向上と納期内納付の促進				
差押物件公売による税収確保				
<b>要求額増減理由</b>				
コンビニ収納実施による、委託料等の増				

<b>①総合計画</b>			
構想の推進			
行財政運営			
(2) 健全で持続可能な財政基盤の確立を図る			
② 財源の確保			
<b>②実施計画・中期財政計画</b>			
7 構想の着実な推進をめざして			
(2) 行財政運営			
ソフト			
市税等収納強化事業			
<b>③事業評価</b>			
事業名	市税等収納強化事業	今後の方向性	
評価区分	Ⅲ	コンビニ収納導入の目的は「納税者の利便性向上」を図るためであるが、口座振替の一層の推進が市民の利便性向上及び行政事務の効率化の面では最も有効と考える。そのため、今後も口座振替への切替えを促進し、可能な限りコスト負担が増えないような取組みが必要である。 また、口座振込を既に行っている人にとっては、本サービスは全く関係がないものであり、一部の人のためにどこまでコストをかけられるかは慎重な判断が必要である。	
コスト・成果ポジション	コスト 中		成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要		
<b>④市長の約束</b>			

予算要求課	財務部 税務課	内線	2140
-------	---------	----	------

金額の単位は、千円

款	2	総務費	項	2	徴税费	目	2	賦課徴収費
事業名	22210		税務関係事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	1,772	2,060	288	1,762	積算内訳の精査	1,762	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	1,772	2,060	288	1,762		1,762	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
税務全般に関する事務			
事業実施の課題			
事業概要			
税務全般に関する事務			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
要求額増減理由			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		